



Rotary Weekly Rotary

広島空港ロータリークラブ週報

2021年4月7日発行

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度
国際ロータリーテーマ

会長 伊藤 保 / 副会長 河井一朗 / 幹事 兼田昌紀 / SAA 橋濱智美
事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階
TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

4月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
例会 例会 例会 休会

本日のプログラム(4月7日)

花見例会
(12:30~13:00 例会・食事 13:00~三景園)

次回のプログラム(4月14日)

広島県議会議員 伊藤英治 様

第1203回 2021年3月24日 例会記録

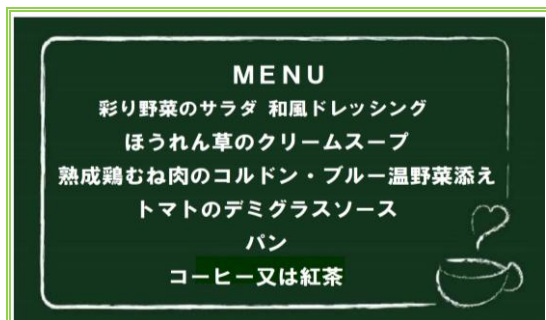
点 鐘 伊藤 保 会長

ロータリーソング「我等の生業」

出席報告

	会員数 名譽・シニア	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (3/24)	28 2	18 0	2	5 3	80.00
メイク	熊谷・伊藤佳子				
前々回 (3/3)	28 2	17 0	1	7 3	72.00
メイク	鶴田秀樹				

食事時間



会長時間

重森さんから、御香典返しに代えて広島空港RCにご寄付をいただきました。ありがとうございました。



広島空港RCは、2021学年度米山記念奨学生世話クラブになりましたカウンセラーには澤井ガバナー補佐がなっていました。ありがとうございます。1年間よろしく願いいたします。

奨学生は、4月11日地区のオリエンテーション後、5月例会から毎月1回出席していただきます。ベトナム国籍の女性で、大学の指導教官からは、言語のハンデがある留学生としては、抜群の成績という評価を得ています。小論文を読みましたが、日本語の文章も上手で字も私よりよっぽどきれいでした。

ベトナムというと頭に浮かぶのは澤井さんですが、ベトナムの今について調べてみました。正式名称は「ベトナム社会主義共和国」。現代までの歩みについては、昨年度、楠部先生のビデオで皆さんもいろいろ知ったところです。アジアの新興国の中でも急激な経済成長を続けているのがベトナムです。有名な料理は生春巻きとフォー。ベトナム料理は、味はもちろん、野菜を多く使うことからヘルシーと多くの日本人に好まれているそうです。

先ほど急激な経済成長を続けていると言いましたが、ベトナムのGDP成長率は、2018年のデータですが、7.1%でした。日本の0.8%、アメリカの2.9%、中国の6.6%と比較しても急激な経済成長を遂げていることがわかります。この経済成長の要因は、外国企業のベトナムへの進出と言われています。ベトナムはエネルギーや鉄鉱資源が豊富なため海外のエネルギー企業が施設を建設し資源の探鉱を行っています。例えば日本の出光興産は、三井化学、クウェート国際石油などと合併事業を立ち上げ、現地に製油所を設け石油化学製品を生産しています。日本からベトナムまでの距離ですが、フライト時間は約6時間と欧米に比べてとても近く、日本人に人気の旅行先となっています。もっと詳しいことが知りたい方は、澤井ガバナー補佐にお尋ねください。

幹事報告

- 《配布物》週報1202号
- 《回覧》地区協議会案内
- 地区大会出欠表
- 今後の例会出欠表
- 今年度職場体験学習受入確認
- 《お知らせ》尾道東RC 空谷会長より
- 第21回市民公開講座のご案内をいただきました。
- お申し込みは、4月8日（木）までをお願いします。

尾道東ロータリークラブ 第21回 市民公開講座

分業制 スポーツに おける 組織論

～自分で考える力～

講師 鳥内秀晃氏
関西学院大学
アメリカンフットボール部 前監督

4/10^{2021年}(土) 13:30~15:30
 開場 13:00
 しまなみ交流館 (テアトロシエレネ)

新型コロナウイルス感染対策について
 国内・広島県内の感染状況に応じて、やむを得ず中止させて頂く場合がございます。もしも中止になります場合は、前日9日15時に当HPにてご連絡をさせていただきます。あらかじめご了承ください。締切前にお申し込みください。締切を過ぎますのでご了承ください。

入場無料 お申込受付中
お申込み方法 (FAX・メール) Eメール: ohrc@bbbn.jp
 FAXの方は、チラシ裏面にあります申し込み用紙をご記入の上、事務局までお送り下さい。メールでのお申し込みの場合は、上記アドレスへお送り致します。
 締切前にお申し込みください。締切を過ぎますのでご了承ください。

入場チケットの
 受渡し方法 当事務局へお越し頂くからのお渡しになります。申込用紙もしくはメール内に、チケットお引取りご希望日を必ず記載の上、お申込み下さい。

【主催/お問合せ先】尾道東ロータリークラブ事務局 尾道市土堂2丁目10-3 尾道商工会議所3階
 TEL0848-25-5378 (事務局対応可能時間：月・水・木・9時30分~15時)
 【共催】尾道ロータリークラブ
 【後援】尾道市・尾道市教育委員会

卓話時間

岡田 雄幸 会員

私の人生「ノルウェー編」



皆さんこんにちは。先日卓話のご依頼があり何をお話しさせて頂こうか考えました。親父が76歳の時に「私の人生」という自分史を書いています。私は62歳ですが、76歳になった時に、そういったことが出来るだろうか？この機会に少しでも私の生きてきた証を作っておきたいと思ったのでこのテーマにいたしました。

ノルウェー語

Hello alle sammen.
 Takk for muligheten til å snakke i dag.
 Jeg skal snakke om Norge fra nå.
 Det er kort tid, men takk.

皆さんこんにちは。
 今日は卓話の時間をいただきありがとうございます。
 これからノルウェーの事について話をさせていただきます
 短い時間ですがよろしくお願いします。

今から44年前、昭和52年5月(18歳)から1年半ノルウェーへ行き、農家にホームステイして農業実習しました。滞在中、1ヶ月間の休暇を利用して欧州各国を旅行したお話をさせていただきます。

動機

私は小学校高学年ごろからビートルズやエルビスプレスリーに興味を持ち、ロックミュージックなどの西洋音楽を聴くことが好きでした。同時に外国への憧れも強く、いつも行ってみたいと思っていました。更には、私が13歳(中学1年生)の時札幌オリンピックがあり、フィギュアスケートやスキージャンプなどを見て外国に行ってみたいと思うようになりました。

高校進学のと同時に、父から三重県の愛農学園高等学校に行くことになり、ノルウェーやスイスに行けるルートがある。受験してみないかと勧められ受験しました。そして、卒業と同時に希望していたノルウェー行きが決まり、農業実習生として派遣されることとなりました。

渡航（経路・時間・費用）

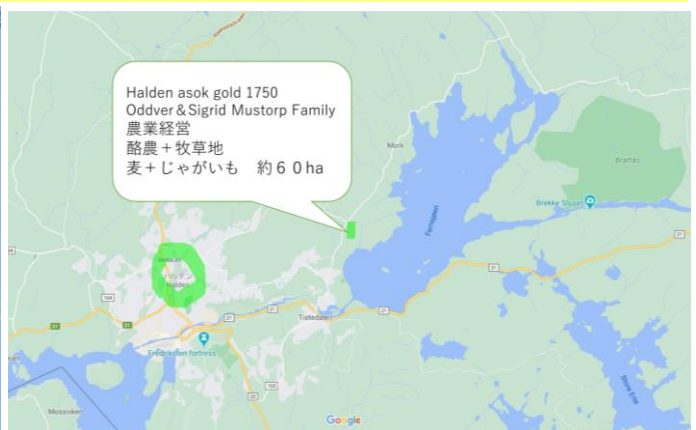
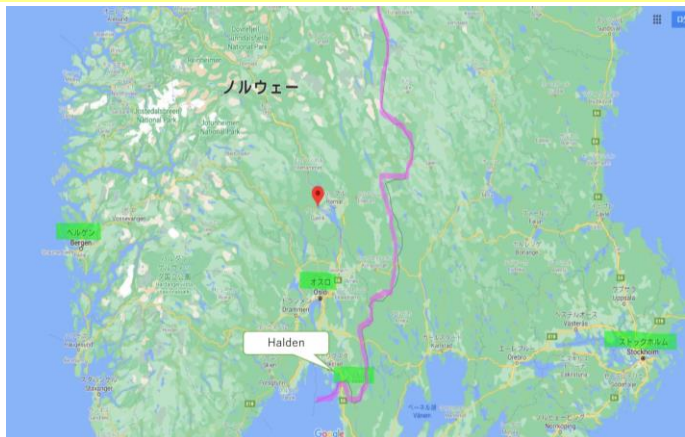
渡航経路 伊丹空港 ⇒ ソウル ⇒ アンカレジ ⇒ シャルルドゴール ⇒ ヘルシンキ ⇒ オスロ
渡航時間 24 時間[現在 15 時間] **渡航経費** 約 60 万円[現在 15 万]



北欧の国 / ノルウェー

正式名称	ノルウェー王国 ハーラル5世 ソニヤ王妃 [44年前オーラブ5世]
面積	38.6 万平方キロメートル（ほぼ日本と同じ面積）
政治体制	立憲君主制 議院内閣制 一院制
人口	534 万人（ほぼ北海道の人口） 移民が 14% [44年前 404 万人] 高齢者人口は 92 万人 (17.27%)
首都	オスロ 人口 68 万人 [44年前推定 51 万人]
人種	ほとんどノルウェー人 [44年前アジア系住民も多い]
言語	ノルウェー語
宗教	キリスト教（プロテスタント）
通貨	ノルウェークローネ 1kr ≒ 13 円 [44年前 1kr ≒ 40 円]
GDP（名目）	4,033 億 \$ (2019 年, 31 位) [44年前約 415 億 \$] [日本 : 50,799 億 \$ 3 位 44 年前 721,4 億 \$]
労働生産性	75,419 \$ (2019 年, 6 位) 日本 : 40,246 \$ 27 位 [44 年前 10,266 \$ 日本 : 6,335 \$ 36 位]
主要産業	石油・ガス生産業, 水産業
現在のノルウェー	2020 年 EV 車 54%、2025 年には EV 車や FGV しか売れなくなる。 高速道路…ガソリン車高い、電気自動車が安い

私が暮らした ハルテン市



スウェーデンと国境を接するノルウェー最南端の町
面積 : 642km² **人口** : 28,063 人 IT と環境の町

写真で紹介

今回写真を出して現像してみましたが、44年前のものですから映像には期待しないでください。



大変お世話になったホストファミリー
Oddver & Sigrid Msutorp 夫妻



子どもたち



おじいちゃん、おばあちゃん



ホストファミリーの家 夏・冬



目の前にあるおじいちゃん、おばあちゃんの家



日曜日には教会に行きます
私も時々連れて行ってもらい
お祈りして帰るとい
う日々を過ごしていま
した。



12月のXmasシーズンは、
毎日パーティーをします。
親戚、友人を招いたり招かりたり
して、食事をしてコーヒーを飲んで
楽しい一時を過ごします。



サラブレーション



夏が短いので、湖でよく遊びます。
とにかく日光浴をされます。



建国記念日のパレード
高校生の鼓笛隊



感謝祭



農業実習



家の前の畑、一面牧草地。毎日トラクターに乗って作業をしていました。当時キャビン付きのトラクターは北海道ではあったのかもしれませんが、この辺では見た事がありませんでした。ステレオやクーラーもあり、非常に快適な農作業が出来ます。



44年前ですが、すごく近代化しており、トラクターにスプリンクラーのホースを引っ張り畑の中に持っていき勝手に水を撒いてホースが巻かれて戻ってきます。



ノルウェーは徴兵制が1年くらいあり、各それぞれの農家にもライフル銃があります。遠くに見えているエゾ鹿が見えますが、撃って捕って冬場の食料にもします。

農業団体の視察



ノルウェーは非常に農業が進んでいる国で、日本からの農業団体が視察に来られた時に、通訳をさせていただいた事もあります。



欧州各国の旅

ノルウェー ベルゲン

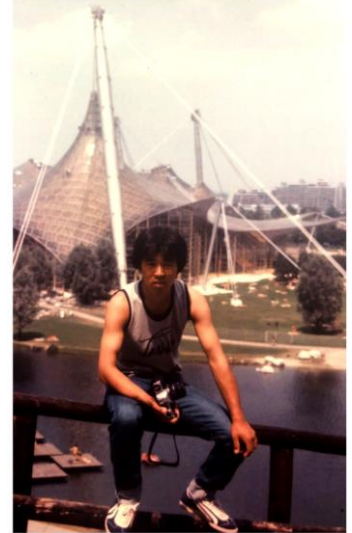
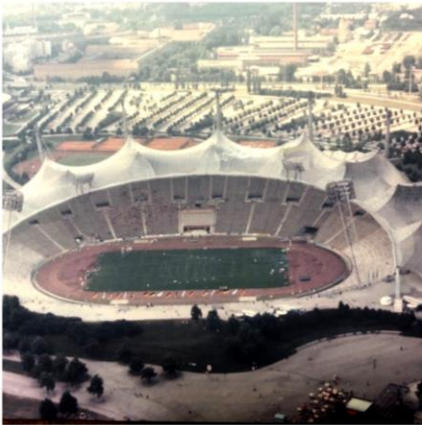


滞在中、1ヶ月間の休暇をもらって周遊列車（いくら乗っても料金が変わらない）に乗って各国周りました。共産圏（東ドイツ・ベルギー）にはなかなか入国できませんでしたので自由主義圏のみになります。

夏に1ヶ月の休暇 スウェーデン⇒デンマーク⇒オランダ⇒フランス⇒ドイツ⇒スイス⇒オーストリア⇒スペイン
冬に1週間の休暇 イギリス

バックパックで、テントを張り野宿しながら旅をしました。

ドイツ ミュンヘン



オリンピック会場

デンマーク コペンハーゲン



オランダ アムステルダム



フランス ルーヴル博物館



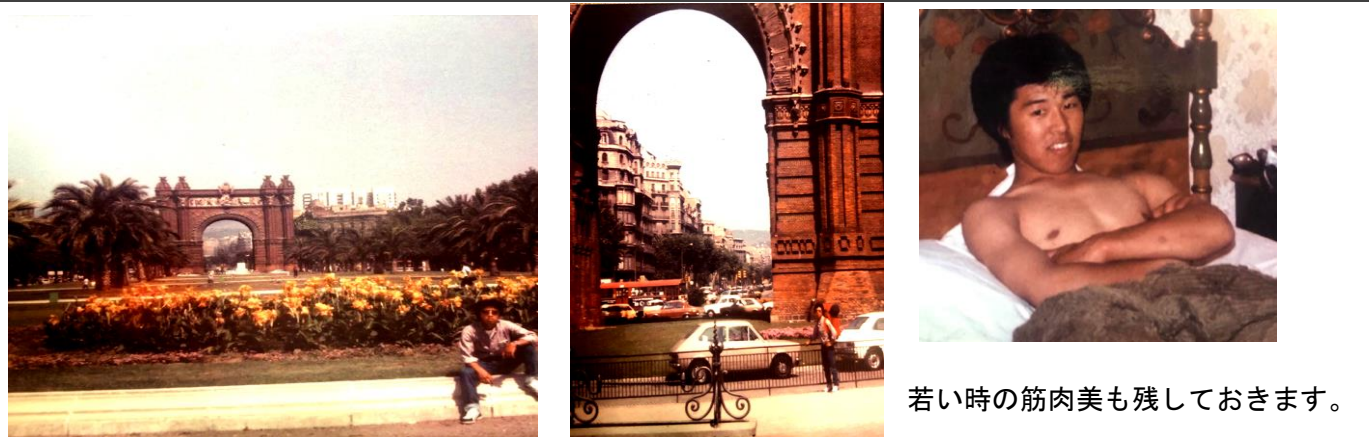
当時はカメラで撮れていました。

スイス マッターホルン



学校からスイスに行けるルートもありましたので、スイスの農家にいる同級生の所に逢いに行きました。

スペイン マドリッド

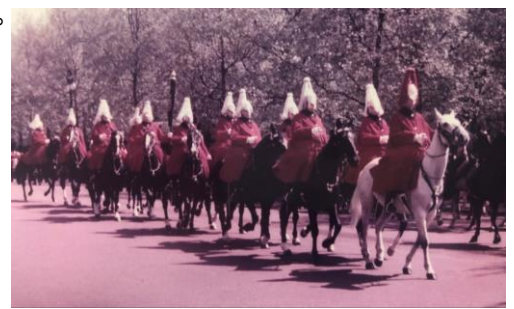


若い時の筋肉美も残しておきます。

イギリス バッキンガム



衛兵交代時のパレードも見学しました。



イギリス マンチェスター



マッセイ・ファーガソンというトラクターを作っている工場を見学しました。
イギリスは産業革命の発祥の地で蒸気機関がの発明によって発展を遂げた国です。



Takk for at dere horte po



ご清聴ありがとうございました。

質 問

滞在中に感じた事

ノルウェーは日本より文化的な国であると感じました。物価が高いのであらゆる物を大事に使い、壊れたら新しい物を買うのではなく修理していつまでも使うことに感心しました。

離れて分かった日本の良さ、変えていかなければいけないと思った事？

日本の良さは、言葉が通じること、物価が安いこと、お店のサービスがいいこと。

変えなければいけないと思ったことは、物を修理しながら大切に使うこと。

ノルウェーでは、子供であっても大人と同じ扱いをします。子供が悪いことをしたとき、じっくりと話して理解させます。噛み砕いた内容でゆっくりと話して聞かせます。日本でも変えていかなければいけないと思います。

44年経って、この経験したことをどのように感じていますか？

ノルウェーで経験したことが、私の人生で大きな糧となっていると感じています。どんな苦難や試練に直面しても乗り越えられるという自信になりました。世界は広い、いろんな人種がいて、いろんな考えを持った人がいるということが分かりまし、自分の意見をもって、自分の思う生き方をしているのだと感じました。

今、44年前に戻れるとしたら、どのような事(旅・勉強)をしたいですか？

44年前のヨーロッパ旅行は、何も目的もないブラブラとした旅でしたので、ヨーロッパの歴史を学ぶなど目的を明確にした旅をしたいと思います。そして、当時、行く予定にしていたが、お金が足らず行けなかったイタリア・ギリシャにも行ってみたいです。さらには、それぞれの国の人とゆっくり話がしてみたいです。また、ノルウェー滞在中、白夜は体験しましたがオーロラは見れなかったの、見てみたいです。

卓話 私の人生「ノルウェー編」の次は？

馬術編 アメリカ編 福祉編 と考えればありますが、どれも薄っぺらい人生ですのでお話できるようなボリュームがありません。

最後に一言

1/20の程度の人口で国が成り立っています。このように少ない人口であっても1人当たりの国民総生産は日本の約2倍もあります。日本はこれから人口減少時代に突入します。人口が減少しても国民一人ひとりの労働生産性を向上させてノルウェーのように国力を保っていくことが必要ではないかと思いました。